



国際医療リスクマネジメント学会

医療安全臨床コミュニケーター実習研修会2022 (クライシス・コミュニケーション/クライシス・ガバナンス編)

—医療事故時の患者対応のあり方—

主催者の挨拶

「クライシスマネジメント」とは、組織に大きなダメージを与えかねない危機的状況が起きた時に、悪影響を出るだけ小さくする様々な対応のことです。

そのベースは高度なガバナンスと実際のコミュニケーションによって構成されます。

医療におけるクライシスマネジメントは、医療事故はじめ、今回の新型コロナウイルスによるパンデミック状況や大規模災害時など、様々な状況を想定して、明確な意思決定ラインと行動指針を組織において策定する必要があります。

本プログラムの目的は、医療事故時の円滑な危機対応のためのクライシス・コミュニケーションとクライシス・ガバナンスに関する高度な知識と技術を向上させ、医療事故時の際の院内の優れた組織対応を実現することにあります。

本実習研修によって、組織がより高度な安全文化を構築し、患者・家族からの納得と信頼が得られるよう、各分野の講師によるオンラインの講義を構成しました。

医療安全文化の向上には、より高度な知識と機能を有する高度医療安全管理者が不可欠です。そこで、日本医療安全学会の協力の下、学会認定「高度医療安全管理者」資格制度ならびに「高度看護安全管理者」資格制度における必須科目でもあります。なお、資格の必要ない方もご参加いただけます。

多くの方のご参加をお待ちしております。

2022年11月

企画者 井手口直子(帝京平成大学薬学部)